

集まって話し合い、相談し助け合う民商を 札幌4民商：役員学習交流会開く

札幌4民商は、10月24日(日)役員学習交流会を行い、42人が参加しました。中部民商からは10人が参加しました。

今回は「班・支部活動」をテーマに学習と経験交流を進めようという取り組みが主眼。

全体会では、志子田帯広民商会長(北商連副会長)が講演を行い、その後3つの分散会に分かれ討論しました。

後半の全体会では、池田北商連事務局長が情勢報告し「今こそ強く大きな民商建設を、全会員の力を合わせて進めていこう」と強調しました。

中小業者は地域の宝を確信 民商を増やしてこそ要求実現

全体会の講演で志子田会長は「会長不在の町内会が増え、地域商店街のコミュニケーションがなくなっている。こうした中で、中小業者が地域に関わる重要性が増している」と強調しました。



▲民商の大切さを語る志子田会長

まちづくりを進めていくうえで、民商が力を発揮する事も大切だと述べ「自治体に批判だけを言うのではなく、対案も出しながら、民商も一緒に進める一員だ」という事を知らせる事が大事」と中小企業振興条例を作り発展させてきた経験を語りました。

拡大の決り集集を兼ねた全体会で横江中部民商会長は「6・1基本調査の商工新聞記者数が会員数になる事が必要だ。民商を大きくする以外に、私たちの要求実現の道は開けません。全道・全国で優れている民商の取り組みに学び、秋の運動での飛躍を勝ち取ろう」と訴えました。



南区支部交流会 やりたい事を出し合う

南区支部では、毎月交流会を開きながら「会員同士の結びつきを強めよう」と取り組みを進めています。

10月は「なんでも相談会」を開催しながら、夜は交流会。根本支部長(常任理事)から「民商に入ると楽しくて、商売も頑張れる。そんな民商をつくるにはどうしたらいいか」のテーマが出され、参加者は「南区で民商まつりを」「税金や金融を語る会」「地域の清掃活動をお揃いのジャンパーを着てやろう」など多彩な企画を出し合いました。

支部では11月の役員会で討議して、実現に向けて進める計画を立てています。

楽しい企画を考え 学習・交流の活動も



分散会討論ではそれぞれの民商で班・支部活動に取り組み中、「声をかけても人が集まらない」「役員が高齢化して活動が大変」「支部長が不在で動けない」等の現状や悩みが出されました。

一方で「全会員を対象にした支部交流会を行い、学習会だけではなくカラオケ大会や飲み会を企画して楽しい活動にしている」「固定資産税の問題で区の担当者を呼んで説明会を行った」などの取り組みも紹介されました。



第3支部交流会 支部長を中心に活動を

第3支部は役員会と交流会を開き11人が参加しました。

役員会では「支部長をはじめ、支部体制を確立しよう」の提起に、稲田常任理事が「支部長が決まらないと支部活動が進まない。微力ながら頑張る」と決意が語られました。合わせて副支部長2人も決めました。支部総会を開くまでの体制ですが支部では「もっと支部役員を増やし、班・支部活動を活発にしていこう」と話し合いました。

第37回婦人部総会を成功させよう

年に1回開かれる婦人部定期総会が近づいてきました。総会を成功させるためにも、多くの参加を呼びかけます。

日時: 11月7日(日)午後4時 ☆総会終了後、懇親会を行いません

場所: 札幌第一ホテル (南7西1電話530-1101)

会費: 部員2,000円 (5000円のところ)
(家族等の会費については問い合わせ下さい)

◎参加される方は、民商事務所まで連絡を

